

平成24年7月23日

肝炎対策推進室御中

肝炎ウイルス検診における啓蒙活動の一例

清本 太一

今までの厚労省側からの広報では、性交渉の他に、ピアスやイレスミなどを主な感染ルートとし、ごく僅かな限られた方々を対象にするような文言でした。下記は札幌市が7月28日に配布する、肝炎デーの周知と、肝炎検査の促進を目的としたポケットティッシュのデザインです。

集団予防接種は、20代以降の国民のほとんどがを受けており、即ち、国民のほとんどに感染の危険性があった事を伝える必要があります。今後の広報活動においては、是非とも札幌市の様な姿勢で、広報してください。

【メインコピー】

集団予防接種の注射器の使い回しなどによる肝炎ウイルス感染者は全国に300万人以上いるといわれています。

一生に一度は肝炎ウイルス検査を受けてください。

その「一度」を一日でも早く。

あなたと、あなたの家族のために。

7月28日は World Hepatitis Day
世界肝炎デー

肝炎ウイルス検査のすすめ **無料検査**

集団予防接種の注射器の使い回しなどによる肝炎ウイルス感染者は全国に300万人以上いるといわれています。一生に一度は肝炎ウイルス検査を受けてください。その「一度」を一日でも早く。あなたと、あなたの家族のために。

早期発見
早期治療

お近くの提携医療機関で受診できますので、下記へお問い合わせください。

札幌市コールセンター
TEL.011-222-4894

ポケットティッシュ(原寸)